

平成 27 年度 病院事業決算状況

都道府県名 長野県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	長野県立病院機構	2
長野市	長野市民病院	3
松本市	松本市国民健康保険会田病院	4
松本市	松本市立病院	5
上田市	上田市立産婦人科病院	6
岡谷市	岡谷市民病院	7
飯田市	飯田市立病院	8
大町市	大町総合病院	9
佐久市	国保浅間総合病院	10
東御市	東御市民病院	11
佐久穂町	佐久穂町立千曲病院	12
軽井沢町	国保軽井沢病院	13
辰野町	辰野病院	14
信濃町	信越病院	15
飯綱町	飯綱町立飯綱病院	16
伊那中央行政組合（事業 会計分）	伊那中央病院	17
伊南行政組合	昭和伊南総合病院	18
諏訪中央病院組合	組合立諏訪中央病院	19
	依田窪医療福祉事務組合 国保依田窪病院	20

病院事業決算状況 (27年度)		都道府県名	長野県
		市町村・組合名	
		病院名	長野県立病院機構
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)		2,098,804
決算規模(千円)		823,638,407
標準財政規模(千円)		522,947,449
財政力指数		0.47586
経常収支比率(%)		92.7
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.7
	将来負担比率(%)	170.1

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	468,023			
1 経常収益	468,023			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	468,023			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	468,023			
2 経常費用	468,023			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	54.5	49.7
材料費	-	-	24.1	27.4
(うち薬品費)	-	-	12.6	14.4
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	12.6
減価償却費	-	-	9.0	8.6
経費	-	-	23.3	20.4
(うち委託料)	-	-	10.8	11.0
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	468,023			
(うち支払利息)	468,023	-	1.9	1.7
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	17,023,738			
経常収支比率	100.0		98.7	100.0
医業収支比率	-		89.5	93.7
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.0	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.0	10.3
他会計繰入金対総収益比率	-		12.3	9.1
実質収益対経常費用比率	100.0		86.8	90.9

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27年度)	都道府県名	長野県
	市町村・組合名	長野市
	病院名	長野市民病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	33,646 m ²	指定病院の状況	救臨が地輪
診療科数	30	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	指定管理者(代行制)
DPC対象病院	対象		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	400	83.7	87.0	87.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	400	83.7	87.0	87.1
平均在院日数(一般病床のみ)		11.0	11.5	11.4

設立団体の状況		
人口(人)	377,598	
決算規模(千円)	156,875,709	
標準財政規模(千円)	88,386,778	
財政力指数	0.71	
経常収支比率(%)	86.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	3.4
	将来負担比率(%)	37.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	87.3
修正医業収支金額(千円)	12,200,079

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	14,146,348			
1 経常収益	13,467,240			
(1) 医業収益	12,497,004			
入院収益	8,007,655			
外来収益	3,566,445			
診療収入計	11,574,100			
その他医業収益	922,904			
(うち他会計負担金)	296,925			
(2) 医業外収益	970,236			
(うち国・都道府県補助金)	1,946			
(うち他会計補助・負担金)	568,625			
(うち長期前受金戻入)	208,244			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	679,108			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	14,428,617			
2 経常費用	14,322,388			
(1) 医業費用	13,970,844			
職員給与費	42,887	0.3	54.5	53.1
材料費	-	-	24.1	25.1
(うち薬品費)	-	-	12.6	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	11.8
減価償却費	838,284	6.7	9.0	8.8
経費	13,086,099	104.7	23.3	21.3
(うち委託料)	-	-	10.8	8.7
研究研修費	-			
資産減耗費	3,574			
(2) 医業外費用	351,544			
(うち支払利息)	328,969	2.6	1.9	1.8
(3) 特別損失	106,229			
損益				
経常損益	-855,148			
純損益	-282,269			
累積欠損金	1,683,196			
経常収支比率	94.0		98.7	98.7
医業収支比率	89.5		89.5	91.8
他会計繰入金対経常収益比率	6.4		12.0	10.4
他会計繰入金対医業収益比率	6.9		14.0	11.8
他会計繰入金対総収益比率	6.1		12.3	10.5
実質収益対経常費用比率	88.0		86.8	88.4

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	19,461,981
1 固定資産	13,377,685
(1) 有形固定資産	13,074,806
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	302,879
2 流動資産	6,084,296
(1) 現金及び預金	3,866,306
(2) 未収金及び未収収益	2,249,551
(3) 貸倒引当金()	31,561
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	12,438,989
1 固定負債	9,048,883
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	9,048,883
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,736,531
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	703,248
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,032,434
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,653,575
(1) 長期前受金	8,033,606
(2) 長期前受金収益化累計額()	6,380,031
資本合計	7,022,992
1 資本金	8,706,188
2 剰余金	-1,683,196
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-1,683,196
負債・資本合計	19,461,981
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	865,550	865,550
資本勘定繰入	576,145	576,145
計	1,441,695	1,441,695

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	13.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27 年度)				都道府県名	長野県
				市町村・組合名	松本市
				病院名	松本市国民健康保険会田病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	1,636 m ²	指定病院の状況	救		
診療科数	3	看護配置	その他		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-				

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	11	71.3	39.0	33.3
療養	20	76.5	82.2	82.6
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	31	74.7	66.9	65.1
平均在院日数（一般病床のみ）		27.6	28.5	30.8

設立団体の状況		
人口（人）	243,293	
決算規模（千円）	88,759,222	
標準財政規模（千円）	57,867,540	
財政力指数	0.71	
経常収支比率（%）	82.0	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	5.4
	将来負担比率（%）	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	65.1
修正医業収支金額（千円）	240,892

損益計算書（千円・%）					
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	402,085				
1 経常収益	402,085				
(1) 医業収益	299,619				
入院収益	114,638				
外来収益	109,392				
診療収入計	224,030				
その他医業収益	75,589				
(うち他会計負担金)	58,727				
(2) 医業外収益	102,466				
(うち国・都道府県補助金)	-				
(うち他会計補助・負担金)	98,222				
(うち長期前受金戻入)	3,883				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	-				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	379,043				
2 経常費用	379,043				
(1) 医業費用	369,961				
職員給与費	125,672	41.9	54.5	74.7	
材料費	75,234	25.1	24.1	18.8	
(うち薬品費)	56,732	18.9	12.6	11.6	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	11,987	4.0	11.0	6.4	
減価償却費	11,214	3.7	9.0	12.5	
経費	156,040	52.1	23.3	38.3	
(うち委託料)	8,649	2.9	10.8	15.7	
研究研修費	57				
資産減耗費	1,744				
(2) 医業外費用	9,082				
(うち支払利息)	768	0.3	1.9	1.9	
(3) 特別損失	-				
損益					
経常損益	23,042				
純損益	23,042				
累積欠損金	17,862				
経常収支比率	106.1		98.7	96.6	
医業収支比率	81.0		89.5	68.6	
他会計繰入金対経常収益比率	39.0		12.0	30.8	
他会計繰入金対医業収益比率	52.4		14.0	45.9	
他会計繰入金対総収益比率	39.0		12.3	30.5	
実質収益対経常費用比率	64.7		86.8	66.9	

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	6,287,172
1 固定資産	4,098,672
(1) 有形固定資産	4,089,674
(2) 無形固定資産	408
(3) 投資その他の資産	8,590
2 流動資産	2,188,500
(1) 現金及び預金	1,679,511
(2) 未収金及び未収収益	496,428
(3) 貸倒引当金（ ）	-
(4) 貯蔵品	12,561
3 繰延資産	-
負債合計	5,056,376
1 固定負債	3,384,950
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,274,608
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,110,342
(7) リース債務	-
2 流動負債	816,216
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	247,101
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	253,711
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	313,889
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	855,210
(1) 長期前受金	1,177,545
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	322,335
資本合計	1,230,796
1 資本金	1,263,614
2 剰余金	-32,818
(1) 資本剰余金	11,571
(2) 利益剰余金	-44,389
負債・資本合計	6,287,172
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	85,339	156,949
資本勘定繰入	11,047	-
計	96,386	156,949

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	7.4
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

- ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27年度)	都道府県名	長野県
	市町村・組合名	松本市
	病院名	松本市立病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透末訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	17,999 m ²	指定病院の状況	救臨感へ輪
診療科数	27	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	209	72.2	67.4	72.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	-	-	-
計	215	70.2	65.6	70.6
平均在院日数(一般病床のみ)		13.5	13.0	13.7

設立団体の状況		
人口(人)	243,293	
決算規模(千円)	88,759,222	
標準財政規模(千円)	57,867,540	
財政力指数	0.71	
経常収支比率(%)	82.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.4
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	91.0
修正医業収支金額(千円)	3,962,556

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,348,529			
1 経常収益	4,348,107			
(1) 医業収益	4,025,606			
入院収益	2,201,122			
外来収益	1,292,429			
診療収入計	3,493,551			
その他医業収益	532,055			
(うち他会計負担金)	63,050			
(2) 医業外収益	322,501			
(うち国・都道府県補助金)	8,533			
(うち他会計補助・負担金)	243,861			
(うち長期前受金戻入)	23,856			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	422			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,509,404			
2 経常費用	4,509,334			
(1) 医業費用	4,356,012			
職員給与費	2,324,142	57.7	54.5	57.6
材料費	703,231	17.5	24.1	20.9
(うち薬品費)	386,427	9.6	12.6	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	283,030	7.0	11.0	9.8
減価償却費	228,988	5.7	9.0	9.3
経費	1,070,087	26.6	23.3	27.2
(うち委託料)	288,693	7.2	10.8	11.2
研究研修費	22,889			
資産減耗費	6,675			
(2) 医業外費用	153,322			
(うち支払利息)	45,437	1.1	1.9	2.1
(3) 特別損失	70			
損益				
経常損益	-161,227			
純損益	-160,875			
累積欠損金	300,117			
経常収支比率	96.4		98.7	96.6
医業収支比率	92.4		89.5	86.2
他会計繰入金対経常収益比率	7.1		12.0	13.2
他会計繰入金対医業収益比率	7.6		14.0	15.7
他会計繰入金対総収益比率	7.1		12.3	13.9
実質収益対経常費用比率	89.6		86.8	83.9

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	6,287,172
1 固定資産	4,098,672
(1) 有形固定資産	4,089,674
(2) 無形固定資産	408
(3) 投資その他の資産	8,590
2 流動資産	2,188,500
(1) 現金及び預金	1,679,511
(2) 未収金及び未収収益	496,428
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	12,561
3 繰延資産	-
負債合計	5,056,376
1 固定負債	3,384,950
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,274,608
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,110,342
(7) リース債務	-
2 流動負債	816,216
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	247,101
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	253,711
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	313,889
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	855,210
(1) 長期前受金	1,177,545
(2) 長期前受金収益化累計額()	322,335
資本合計	1,230,796
1 資本金	1,263,614
2 剰余金	-32,818
(1) 資本剰余金	11,571
(2) 利益剰余金	-44,389
負債・資本合計	6,287,172
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	507,697	306,911
資本勘定繰入	136,044	80,000
計	643,741	386,911

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	7.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27年度)	都道府県名	長野県
	市町村・組合名	上田市
	病院名	上田市立産婦人科病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	未
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	3,033 m ²	指定病院の状況	
診療科数	1	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	27	68.1	63.1	59.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	27	68.1	63.1	59.3
平均在院日数(一般病床のみ)		6.4	5.8	5.7

設立団体の状況		
人口(人)	156,827	
決算規模(千円)	69,497,041	
標準財政規模(千円)	40,129,577	
財政力指数	0.60	
経常収支比率(%)	85.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.3
	将来負担比率(%)	45.2

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	75.2
修正医業収支金額(千円)	425,839

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	582,457			
1 経常収益	526,570			
(1) 医業収益	425,839			
入院収益	312,065			
外来収益	91,181			
診療収入計	403,246			
その他医業収益	22,593			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	100,731			
(うち国・都道府県補助金)	1,506			
(うち他会計補助・負担金)	60,244			
(うち長期前受金戻入)	29,144			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	55,887			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	635,495			
2 経常費用	579,774			
(1) 医業費用	566,271			
職員給与費	261,306	61.4	54.5	74.7
材料費	34,036	8.0	24.1	18.8
(うち薬品費)	8,573	2.0	12.6	11.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	19,465	4.6	11.0	6.4
減価償却費	69,614	16.3	9.0	12.5
経費	200,037	47.0	23.3	38.3
(うち委託料)	41,075	9.6	10.8	15.7
研究研修費	1,227			
資産減耗費	51			
(2) 医業外費用	13,503			
(うち支払利息)	5,373	1.3	1.9	1.9
(3) 特別損失	55,721			
損益				
経常損益	-53,204			
純損益	-53,038			
累積欠損金	-			
経常収支比率	90.8		98.7	96.6
医業収支比率	75.2		89.5	68.6
他会計繰入金対経常収益比率	11.4		12.0	30.8
他会計繰入金対医業収益比率	14.1		14.0	45.9
他会計繰入金対総収益比率	10.3		12.3	30.5
実質収益対経常費用比率	80.4		86.8	66.9

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,436,519
1 固定資産	1,116,283
(1) 有形固定資産	1,116,211
(2) 無形固定資産	72
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	320,236
(1) 現金及び預金	258,679
(2) 未収金及び未収収益	60,391
(3) 貸倒引当金()	65
(4) 貯蔵品	1,231
3 繰延資産	-
負債合計	1,121,138
1 固定負債	234,787
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	223,366
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	11,421
(7) リース債務	-
2 流動負債	376,627
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	335,153
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	16,754
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	24,720
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	509,724
(1) 長期前受金	660,906
(2) 長期前受金収益化累計額()	151,182
資本合計	315,381
1 資本金	123,163
2 剰余金	192,218
(1) 資本金剰余金	66,076
(2) 利益剰余金	126,142
負債・資本合計	1,436,519
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	7,173	60,244
資本勘定繰入	14,392	14,392
計	21,565	74,636

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27年度)	都道府県名	長野県
	市町村・組合名	岡谷市
	病院名	岡谷市民病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	24,157 m ²	指定病院の状況	救臨感 輪
診療科数	26	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	266	78.0	76.3	80.1
療養	25	66.4	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	22.6	17.7	31.2
計	295	76.0	75.4	79.3
平均在院日数(一般病床のみ)		19.2	19.2	19.1

設立団体の状況		
人口(人)	50,128	
決算規模(千円)	21,005,992	
標準財政規模(千円)	11,951,266	
財政力指数	0.63	
経常収支比率(%)	89.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.0
	将来負担比率(%)	142.8

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,084,590			
1 経常収益	6,549,484			
(1) 医業収益	5,756,796			
入院収益	3,436,775			
外来収益	1,780,060			
診療収入計	5,216,835			
その他医業収益	539,961			
(うち他会計負担金)	128,361			
(2) 医業外収益	792,688			
(うち国・都道府県補助金)	11,264			
(うち他会計補助・負担金)	396,393			
(うち長期前受金戻入)	304,887			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	535,106			
(うち他会計繰入金)	53,829			
総費用	8,762,298			
2 経常費用	6,419,308			
(1) 医業費用	6,171,525			
職員給与費	3,904,765	67.8	54.5	57.6
材料費	1,101,104	19.1	24.1	20.9
(うち薬品費)	629,511	10.9	12.6	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	421,655	7.3	11.0	9.8
減価償却費	403,081	7.0	9.0	9.3
経費	749,107	13.0	23.3	27.2
(うち委託料)	399,607	6.9	10.8	11.2
研究研修費	12,008			
資産減耗費	1,460			
(2) 医業外費用	247,783			
(うち支払利息)	34,669	0.6	1.9	2.1
(3) 特別損失	2,342,990			
損益				
経常損益	130,176			
純損益	-1,677,708			
累積欠損金	2,617,559			
経常収支比率	102.0		98.7	96.6
医業収支比率	93.3		89.5	86.2
他会計繰入金対経常収益比率	8.0		12.0	13.2
他会計繰入金対医業収益比率	9.1		14.0	15.7
他会計繰入金対総収益比率	8.2		12.3	13.9
実質収益対経常費用比率	93.9		86.8	83.9

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	12,849,443
1 固定資産	11,453,875
(1) 有形固定資産	10,912,834
(2) 無形固定資産	3,666
(3) 投資その他の資産	537,375
2 流動資産	1,382,166
(1) 現金及び預金	416,587
(2) 未収金及び未収収益	932,883
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	31,596
3 繰延資産	13,402
負債合計	14,455,097
1 固定負債	10,279,398
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,982,136
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,288,423
(7) リース債務	8,839
2 流動負債	1,003,943
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	436,964
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	220,345
(6) リース債務	7,495
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	310,205
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,171,756
(1) 長期前受金	3,826,459
(2) 長期前受金収益化累計額()	654,703
資本合計	-1,605,654
1 資本金	981,789
2 剰余金	-2,587,443
(1) 資本剰余金	30,116
(2) 利益剰余金	-2,617,559
負債・資本合計	12,849,443
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	1,605,654
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	91.2
修正医業収支金額(千円)	5,628,435

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	706,017	578,583
資本勘定繰入	223,871	692,100
計	929,888	1,270,683

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	45.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27年度)	都道府県名	長野県
	市町村・組合名	飯田市
	病院名	飯田市立病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	36,345 m ²	指定病院の状況	救臨が感災地輪
診療科数	32	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	419	80.0	81.4	83.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	423	79.3	80.6	83.0
平均在院日数(一般病床のみ)		10.9	11.1	11.3

設立団体の状況		
人口(人)	101,581	
決算規模(千円)	44,900,391	
標準財政規模(千円)	27,610,659	
財政力指数	0.53	
経常収支比率(%)	88.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.8
	将来負担比率(%)	6.3

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	95.2
修正医業収支金額(千円)	10,902,970

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	12,033,551			
1 経常収益	12,033,551			
(1) 医業収益	11,126,798			
入院収益	7,656,596			
外来収益	2,793,228			
診療収入計	10,449,824			
その他医業収益	676,974			
(うち他会計負担金)	223,828			
(2) 医業外収益	906,753			
(うち国・都道府県補助金)	50,784			
(うち他会計補助・負担金)	577,706			
(うち長期前受金戻入)	65,059			
(うち資本費繰入収益)	148,538			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	11,929,806			
2 経常費用	11,929,806			
(1) 医業費用	11,450,130			
職員給与費	6,011,316	54.0	54.5	53.1
材料費	2,582,625	23.2	24.1	25.1
(うち薬品費)	1,147,638	10.3	12.6	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,360,175	12.2	11.0	11.8
減価償却費	874,906	7.9	9.0	8.8
経費	1,922,868	17.3	23.3	21.3
(うち委託料)	781,222	7.0	10.8	8.7
研究研修費	47,549			
資産減耗費	10,866			
(2) 医業外費用	479,676			
(うち支払利息)	98,772	0.9	1.9	1.8
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	103,745			
純損益	103,745			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.9		98.7	98.7
医業収支比率	97.2		89.5	91.8
他会計繰入金対経常収益比率	6.7		12.0	10.4
他会計繰入金対医業収益比率	7.2		14.0	11.8
他会計繰入金対総収益比率	6.7		12.3	10.5
実質収益対経常費用比率	94.2		86.8	88.4

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	21,867,113
1 固定資産	15,407,143
(1) 有形固定資産	15,025,174
(2) 無形固定資産	69,513
(3) 投資その他の資産	312,456
2 流動資産	6,459,970
(1) 現金及び預金	4,566,112
(2) 未収金及び未収収益	1,855,477
(3) 貸倒引当金()	1,832
(4) 貯蔵品	40,213
3 繰延資産	-
負債合計	13,657,860
1 固定負債	10,450,711
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,851,769
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	1,603,220
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,994,846
(7) リース債務	876
2 流動負債	2,633,637
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,395,992
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	392,149
(6) リース債務	1,641
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	840,274
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	573,512
(1) 長期前受金	926,768
(2) 長期前受金収益化累計額()	353,256
資本合計	8,209,253
1 資本金	8,089,049
2 剰余金	120,204
(1) 資本金剰余金	16,459
(2) 利益剰余金	103,745
負債・資本合計	21,867,113
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	864,354	801,534
資本勘定繰入	755,154	651,316
計	1,619,508	1,452,850

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27年度)	都道府県名	長野県
	市町村・組合名	大田市
	病院名	大町総合病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透末訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	19,380 m ²	指定病院の状況	救臨 災 輪
診療科数	12	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	212	50.8	55.2	51.5
療養	62	84.5	87.5	90.4
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	278	57.3	60.6	57.6
平均在院日数(一般病床のみ)		13.8	14.6	13.0

設立団体の状況		
人口(人)	28,041	
決算規模(千円)	17,349,245	
標準財政規模(千円)	10,909,707	
財政力指数	0.41	
経常収支比率(%)	84.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.7
	将来負担比率(%)	49.0

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	77.4
修正医業収支金額(千円)	3,583,725

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,448,094			
1 経常収益	4,446,635			
(1) 医業収益	3,662,185			
入院収益	2,080,330			
外来収益	1,133,250			
診療収入計	3,213,580			
その他医業収益	448,605			
(うち他会計負担金)	78,460			
(2) 医業外収益	784,450			
(うち国・都道府県補助金)	37,142			
(うち他会計補助・負担金)	502,404			
(うち長期前受金戻入)	227,963			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,459			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,882,344			
2 経常費用	4,860,385			
(1) 医業費用	4,631,714			
職員給与費	2,700,137	73.7	54.5	57.6
材料費	596,044	16.3	24.1	20.9
(うち薬品費)	326,343	8.9	12.6	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	234,127	6.4	11.0	9.8
減価償却費	351,899	9.6	9.0	9.3
経費	964,940	26.3	23.3	27.2
(うち委託料)	364,360	9.9	10.8	11.2
研究研修費	12,005			
資産減耗費	6,689			
(2) 医業外費用	228,671			
(うち支払利息)	112,984	3.1	1.9	2.1
(3) 特別損失	21,959			
損益				
経常損益	-413,750			
純損益	-434,250			
累積欠損金	1,083,587			
経常収支比率	91.5		98.7	96.6
医業収支比率	79.1		89.5	86.2
他会計繰入金対経常収益比率	13.1		12.0	13.2
他会計繰入金対医業収益比率	15.9		14.0	15.7
他会計繰入金対総収益比率	13.1		12.3	13.9
実質収益対経常費用比率	79.5		86.8	83.9

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	7,424,514
1 固定資産	6,543,268
(1) 有形固定資産	5,902,077
(2) 無形固定資産	168,800
(3) 投資その他の資産	472,391
2 流動資産	881,246
(1) 現金及び預金	174,556
(2) 未収金及び未収収益	696,701
(3) 貸倒引当金()	2,324
(4) 貯蔵品	12,313
3 繰延資産	-
負債合計	7,619,322
1 固定負債	4,698,874
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,051,105
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	320,000
(6) 引当金	326,496
(7) リース債務	1,273
2 流動負債	1,820,387
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	564,162
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	139,155
(6) リース債務	1,319
(7) 一時借入金	700,000
(8) 未払金及び未払費用	389,010
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,100,061
(1) 長期前受金	3,884,681
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,784,620
資本合計	-194,808
1 資本金	215,074
2 剰余金	-409,882
(1) 資本金剰余金	673,705
(2) 利益剰余金	-1,083,587
負債・資本合計	7,424,514
不良債務	374,979
実質資金不足額	333,479
資本不足額()	194,808
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	688,400	580,864
資本勘定繰入	269,874	568,884
計	958,274	1,149,748

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	374,979	10.2
26年度	171,100	4.6
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	29.6
健全化法上の資金不足額(千円)	190,681
健全化法上の資金不足比率(%)	5.2
地財法上の資金不足額(千円)	190,681
地財法上の資金不足比率(%)	5.2

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27 年度)				都道府県名	長野県
				市町村・組合名	佐久市
				病院名	国保浅間総合病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	22,835 m ²	指定病院の状況	救臨	輪	
診療科数	17	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象				

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	243	82.1	81.4	85.1
療養	80	40.4	56.0	57.8
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	323	71.8	75.1	78.3
平均在院日数(一般病床のみ)		12.9	12.2	11.5

設立団体の状況		
人口(人)	99,368	
決算規模(千円)	50,483,939	
標準財政規模(千円)	28,223,834	
財政力指数	0.51	
経常収支比率(%)	78.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	0.1
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,938,256			
1 経常収益	6,938,256			
(1) 医業収益	6,226,991			
入院収益	3,856,305			
外来収益	1,793,882			
診療収入計	5,650,187			
その他医業収益	576,804			
(うち他会計負担金)	205,103			
(2) 医業外収益	711,265			
(うち国・都道府県補助金)	19,190			
(うち他会計補助・負担金)	314,128			
(うち長期前受金戻入)	236,587			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,948,515			
2 経常費用	6,935,514			
(1) 医業費用	6,594,305			
職員給与費	4,048,285	65.0	54.5	55.3
材料費	1,009,201	16.2	24.1	24.2
(うち薬品費)	339,490	5.5	12.6	12.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	656,825	10.5	11.0	11.5
減価償却費	448,945	7.2	9.0	8.8
経費	1,019,832	16.4	23.3	21.7
(うち委託料)	638,607	10.3	10.8	10.3
研究研修費	17,415			
資産減耗費	50,627			
(2) 医業外費用	341,209			
(うち支払利息)	67,703	1.1	1.9	2.1
(3) 特別損失	13,001			
損益				
経常損益	2,742			
純損益	-10,259			
累積欠損金	1,172,493			
経常収支比率	100.0		98.7	97.6
医業収支比率	94.4		89.5	90.4
他会計繰入金対経常収益比率	7.5		12.0	11.0
他会計繰入金対医業収益比率	8.3		14.0	12.6
他会計繰入金対総収益比率	7.5		12.3	11.4
実質収益対経常費用比率	92.6		86.8	86.9

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	9,378,793
1 固定資産	6,909,324
(1) 有形固定資産	6,902,730
(2) 無形固定資産	2,594
(3) 投資その他の資産	4,000
2 流動資産	2,469,469
(1) 現金及び預金	614,911
(2) 未収金及び未収収益	1,832,130
(3) 貸倒引当金()	3,303
(4) 貯蔵品	21,773
3 繰延資産	-
負債合計	9,207,147
1 固定負債	6,277,140
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,731,718
(2) その他の企業債	15,991
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,195,907
(7) リース債務	333,524
2 流動負債	1,075,343
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	209,337
(2) その他の企業債	903
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	189,015
(6) リース債務	176,350
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	461,875
(9) 前受金及び前受収益	1,320
3 繰延収益	1,854,664
(1) 長期前受金	4,700,172
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,845,508
資本合計	171,646
1 資本金	1,130,104
2 剰余金	-958,458
(1) 資本金剰余金	114,441
(2) 利益剰余金	-1,072,899
負債・資本合計	9,378,793
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	91.3
修正医業収支金額(千円)	6,021,888

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	519,231	519,231
資本勘定繰入	247,682	198,672
計	766,913	717,903

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	18.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27年度)	都道府県名	長野県
	市町村・組合名	東御市
	病院名	東御市民病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	60	64.5	76.4	78.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	64.5	76.4	78.4
平均在院日数(一般病床のみ)		11.2	12.1	10.4

設立団体の状況		
人口(人)	30,107	
決算規模(千円)	15,105,088	
標準財政規模(千円)	9,028,796	
財政力指数	0.49	
経常収支比率(%)	87.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.5
	将来負担比率(%)	62.9

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	6,858 m ²	指定病院の状況	救 輪
診療科数	12	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	75.3
修正医業収支金額(千円)	1,332,594

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,836,460			
1 経常収益	1,836,460			
(1) 医業収益	1,370,935			
入院収益	444,999			
外来収益	688,818			
診療収入計	1,133,817			
その他医業収益	237,118			
(うち他会計負担金)	38,341			
(2) 医業外収益	465,525			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	429,155			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,868,450			
2 経常費用	1,868,412			
(1) 医業費用	1,768,851			
職員給与費	992,210	72.4	54.5	66.5
材料費	239,844	17.5	24.1	18.1
(うち薬品費)	134,887	9.8	12.6	11.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	95,207	6.9	11.0	5.6
減価償却費	162,188	11.8	9.0	11.3
経費	366,923	26.8	23.3	30.5
(うち委託料)	206,666	15.1	10.8	11.7
研究研修費	4,365			
資産減耗費	3,321			
(2) 医業外費用	99,561			
(うち支払利息)	22,817	1.7	1.9	2.4
(3) 特別損失	38			
損益				
経常損益	-31,952			
純損益	-31,990			
累積欠損金	923,295			
経常収支比率	98.3		98.7	97.7
医業収支比率	77.5		89.5	78.7
他会計繰入金対経常収益比率	25.5		12.0	21.6
他会計繰入金対医業収益比率	34.1		14.0	28.7
他会計繰入金対総収益比率	25.5		12.3	22.0
実質収益対経常費用比率	73.3		86.8	76.6

備考：
 「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,040,982
1 固定資産	2,695,924
(1) 有形固定資産	2,695,653
(2) 無形固定資産	271
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	345,058
(1) 現金及び預金	74,088
(2) 未収金及び未収収益	198,322
(3) 貸倒引当金()	1,000
(4) 貯蔵品	27,338
3 繰延資産	-
負債合計	2,115,239
1 固定負債	1,601,959
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,601,674
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	285
2 流動負債	513,280
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	180,471
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	60,000
(5) 引当金	56,916
(6) リース債務	4,291
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	211,602
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	925,743
1 資本金	1,849,038
2 剰余金	-923,295
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-923,295
負債・資本合計	3,040,982
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	154,605	467,496
資本勘定繰入	46,411	47,411
計	201,016	514,907

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	67.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27 年度)				都道府県名	長野県
				市町村・組合名	佐久穂町
				病院名	佐久穂町立千曲病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド I 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	8,183 m ²	指定病院の状況	救		
診療科数	14	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-				

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	52	85.7	82.5	77.4
療養	45	82.8	86.2	84.7
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	97	84.4	84.2	80.8
平均在院日数(一般病床のみ)		11.8	15.0	17.7

設立団体の状況		
人口(人)	11,186	
決算規模(千円)	7,645,369	
標準財政規模(千円)	5,820,641	
財政力指数	0.23	
経常収支比率(%)	85.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.9
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	85.2
修正医業収支金額(千円)	1,371,580

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,592,417			
1 経常収益	1,592,324			
(1) 医業収益	1,412,709			
入院収益	723,142			
外来収益	535,582			
診療収入計	1,258,724			
その他医業収益	153,985			
(うち他会計負担金)	41,129			
(2) 医業外収益	179,615			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	105,479			
(うち長期前受金戻入)	59,674			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	93			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,655,212			
2 経常費用	1,654,788			
(1) 医業費用	1,610,498			
職員給与費	894,344	63.3	54.5	66.5
材料費	292,456	20.7	24.1	18.1
(うち薬品費)	204,796	14.5	12.6	11.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	70,031	5.0	11.0	5.6
減価償却費	140,577	10.0	9.0	11.3
経費	258,038	18.3	23.3	30.5
(うち委託料)	110,761	7.8	10.8	11.7
研究研修費	4,880			
資産減耗費	20,203			
(2) 医業外費用	44,290			
(うち支払利息)	4,653	0.3	1.9	2.4
(3) 特別損失	424			
損益				
経常損益	-62,464			
純損益	-62,795			
累積欠損金	62,795			
経常収支比率	96.2		98.7	97.7
医業収支比率	87.7		89.5	78.7
他会計繰入金対経常収益比率	9.2		12.0	21.6
他会計繰入金対医業収益比率	10.4		14.0	28.7
他会計繰入金対総収益比率	9.2		12.3	22.0
実質収益対経常費用比率	87.4		86.8	76.6

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,143,915
1 固定資産	2,396,789
(1) 有形固定資産	2,291,810
(2) 無形固定資産	960
(3) 投資その他の資産	104,019
2 流動資産	747,126
(1) 現金及び預金	487,395
(2) 未収金及び未収収益	250,353
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	9,378
3 繰延資産	-
負債合計	2,568,414
1 固定負債	1,863,094
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,576,604
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	286,208
(7) リース債務	282
2 流動負債	617,665
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	167,930
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	47,866
(6) リース債務	1,129
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	394,994
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	87,655
(1) 長期前受金	164,408
(2) 長期前受金収益化累計額()	76,753
資本合計	575,501
1 資本金	638,187
2 剰余金	-62,686
(1) 資本金剰余金	109
(2) 利益剰余金	-62,795
負債・資本合計	3,143,915
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	146,608	146,608
資本勘定繰入	56,921	56,921
計	203,529	203,529

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	4.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27年度)	都道府県名	長野県
	市町村・組合名	軽井沢町
	病院名	国保軽井沢病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	7,442 m ²	指定病院の状況	救
診療科数	15	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	79	75.4	75.9	77.5
療養	24	71.0	75.5	76.7
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	103	74.3	75.8	77.3
平均在院日数(一般病床のみ)		12.8	13.9	15.2

設立団体の状況		
人口(人)	18,994	
決算規模(千円)	17,662,374	
標準財政規模(千円)	8,411,624	
財政力指数	1.49	
経常収支比率(%)	60.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	0.6
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	66.0
修正医業収支金額(千円)	1,577,046

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,337,138			
1 経常収益	2,337,138			
(1) 医業収益	1,854,046			
入院収益	831,625			
外来収益	628,724			
診療収入計	1,460,349			
その他医業収益	393,697			
(うち他会計負担金)	277,000			
(2) 医業外収益	483,092			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	373,000			
(うち長期前受金戻入)	40,875			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,434,526			
2 経常費用	2,434,526			
(1) 医業費用	2,388,974			
職員給与費	1,013,505	54.7	54.5	58.9
材料費	354,193	19.1	24.1	18.0
(うち薬品費)	136,484	7.4	12.6	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	188,760	10.2	11.0	7.4
減価償却費	180,789	9.8	9.0	9.6
経費	833,657	45.0	23.3	30.8
(うち委託料)	279,162	15.1	10.8	12.1
研究研修費	6,830			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	45,552			
(うち支払利息)	43,682	2.4	1.9	2.0
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-97,388			
純損益	-97,388			
累積欠損金	1,252,218			
経常収支比率	96.0		98.7	98.1
医業収支比率	77.6		89.5	84.8
他会計繰入金対経常収益比率	27.8		12.0	15.1
他会計繰入金対医業収益比率	35.1		14.0	18.6
他会計繰入金対総収益比率	27.8		12.3	15.7
実質収益対経常費用比率	69.3		86.8	83.3

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,284,518
1 固定資産	2,632,488
(1) 有形固定資産	2,632,488
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	652,030
(1) 現金及び預金	345,407
(2) 未収金及び未収収益	288,987
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	17,636
3 繰延資産	-
負債合計	2,891,835
1 固定負債	1,904,917
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,888,249
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	16,668
(7) リース債務	-
2 流動負債	273,712
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	109,113
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	60,680
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	103,919
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	713,206
(1) 長期前受金	1,410,076
(2) 長期前受金収益化累計額()	696,870
資本合計	392,683
1 資本金	525,143
2 剰余金	-132,460
(1) 資本金剰余金	505,427
(2) 利益剰余金	-637,887
負債・資本合計	3,284,518
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	653,108	650,000
資本勘定繰入	29,116	10,000
計	682,224	660,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	67.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27 年度)				都道府県名	長野県
				市町村・組合名	辰野町
				病院名	辰野病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	9,882 m ²	指定病院の状況	救 輪		
診療科数	8	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-				

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	100	74.8	69.4	71.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	100	74.8	69.4	71.3
平均在院日数（一般病床のみ）		24.6	22.7	20.6

設立団体の状況		
人口（人）	19,770	
決算規模（千円）	8,307,920	
標準財政規模（千円）	5,808,010	
財政力指数	0.47	
経常収支比率（%）	80.2	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	8.1
	将来負担比率（%）	41.6

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	78.6
修正医業収支金額（千円）	1,671,522

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,203,337			
1 経常収益	2,203,337			
(1) 医業収益	1,746,522			
入院収益	776,560			
外来収益	823,798			
診療収入計	1,600,358			
その他医業収益	146,164			
(うち他会計負担金)	75,000			
(2) 医業外収益	456,815			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	302,455			
(うち長期前受金戻入)	31,105			
(うち資本費繰入収益)	110,745			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,196,352			
2 経常費用	2,196,352			
(1) 医業費用	2,125,851			
職員給与費	1,074,906	61.5	54.5	58.9
材料費	390,921	22.4	24.1	18.0
(うち薬品費)	261,674	15.0	12.6	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	112,638	6.4	11.0	7.4
減価償却費	223,739	12.8	9.0	9.6
経費	430,940	24.7	23.3	30.8
(うち委託料)	224,840	12.9	10.8	12.1
研究研修費	4,027			
資産減耗費	1,318			
(2) 医業外費用	70,501			
(うち支払利息)	7,818	0.4	1.9	2.0
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	6,985			
純損益	6,985			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.3		98.7	98.1
医業収支比率	82.2		89.5	84.8
他会計繰入金対経常収益比率	17.1		12.0	15.1
他会計繰入金対医業収益比率	21.6		14.0	18.6
他会計繰入金対総収益比率	17.1		12.3	15.7
実質収益対経常費用比率	83.1		86.8	83.3

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	3,988,618
1 固定資産	3,628,564
(1) 有形固定資産	3,543,652
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	84,912
2 流動資産	360,054
(1) 現金及び預金	42,636
(2) 未収金及び未収収益	299,813
(3) 貸倒引当金（ ）	2,000
(4) 貯蔵品	18,487
3 繰延資産	-
負債合計	3,468,755
1 固定負債	2,230,944
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,222,855
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	8,089
2 流動負債	525,764
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	217,388
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	45,855
(6) リース債務	16,058
(7) 一時借入金	140,000
(8) 未払金及び未払費用	106,371
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	712,047
(1) 長期前受金	774,824
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	62,777
資本合計	519,863
1 資本金	512,878
2 剰余金	6,985
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	6,985
負債・資本合計	3,988,618
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	383,499	377,455
資本勘定繰入	135,216	130,745
計	518,715	508,200

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	-
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27年度)	都道府県名	長野県
	市町村・組合名	信濃町
	病院名	信越病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド I 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	5,064 m ²	指定病院の状況	救
診療科数	8	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	49	57.3	60.3	67.1
療養	50	91.0	91.8	91.7
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	74.3	76.3	78.9
平均在院日数(一般病床のみ)		15.1	15.3	18.0

設立団体の状況		
人口(人)	8,469	
決算規模(千円)	5,623,518	
標準財政規模(千円)	3,653,035	
財政力指数	0.35	
経常収支比率(%)	87.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.0
	将来負担比率(%)	30.9

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	74.9
修正医業収支金額(千円)	1,043,112

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,350,161			
1 経常収益	1,350,161			
(1) 医業収益	1,128,334			
入院収益	575,867			
外来収益	422,826			
診療収入計	998,693			
その他医業収益	129,641			
(うち他会計負担金)	85,222			
(2) 医業外収益	221,827			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	167,262			
(うち長期前受金戻入)	42,015			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,435,627			
2 経常費用	1,435,627			
(1) 医業費用	1,393,173			
職員給与費	740,004	65.6	54.5	66.5
材料費	199,086	17.6	24.1	18.1
(うち薬品費)	125,721	11.1	12.6	11.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	54,988	4.9	11.0	5.6
減価償却費	101,157	9.0	9.0	11.3
経費	346,887	30.7	23.3	30.5
(うち委託料)	109,487	9.7	10.8	11.7
研究研修費	2,756			
資産減耗費	3,283			
(2) 医業外費用	42,454			
(うち支払利息)	5,661	0.5	1.9	2.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-85,466			
純損益	-85,466			
累積欠損金	954,742			
経常収支比率	94.0		98.7	97.7
医業収支比率	81.0		89.5	78.7
他会計繰入金対経常収益比率	18.7		12.0	21.6
他会計繰入金対医業収益比率	22.4		14.0	28.7
他会計繰入金対総収益比率	18.7		12.3	22.0
実質収益対経常費用比率	76.5		86.8	76.6

備考：
 「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,260,476
1 固定資産	750,771
(1) 有形固定資産	749,425
(2) 無形固定資産	146
(3) 投資その他の資産	1,200
2 流動資産	509,705
(1) 現金及び預金	275,449
(2) 未収金及び未収収益	227,956
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	6,300
3 繰延資産	-
負債合計	1,121,069
1 固定負債	803,139
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	425,311
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	364,949
(7) リース債務	12,879
2 流動負債	180,553
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	62,647
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	47,474
(6) リース債務	7,626
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	62,738
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	137,377
(1) 長期前受金	244,599
(2) 長期前受金収益化累計額()	107,222
資本合計	139,407
1 資本金	1,060,398
2 剰余金	-920,991
(1) 資本金剰余金	33,751
(2) 利益剰余金	-954,742
負債・資本合計	1,260,476
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	252,484	252,484
資本勘定繰入	42,582	42,853
計	295,066	295,337

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	84.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27年度)	都道府県名	長野県
	市町村・組合名	飯綱町
	病院名	飯綱町立飯綱病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	11,246 m ²	指定病院の状況	救
診療科数	15	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	110	74.6	74.9	77.3
療養	51	80.5	81.9	83.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	161	76.5	77.1	79.1
平均在院日数(一般病床のみ)		19.0	18.2	17.5

設立団体の状況		
人口(人)	11,063	
決算規模(千円)	6,808,883	
標準財政規模(千円)	4,878,435	
財政力指数	0.29	
経常収支比率(%)	83.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.8
	将来負担比率(%)	13.7

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,138,780			
1 経常収益	2,138,780			
(1) 医業収益	1,848,876			
入院収益	1,027,350			
外来収益	718,561			
診療収入計	1,745,911			
その他医業収益	102,965			
(うち他会計負担金)	24,960			
(2) 医業外収益	289,904			
(うち国・都道府県補助金)	167			
(うち他会計補助・負担金)	77,769			
(うち長期前受金戻入)	203,886			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,249,737			
2 経常費用	2,237,602			
(1) 医業費用	2,111,319			
職員給与費	986,107	53.3	54.5	58.9
材料費	319,641	17.3	24.1	18.0
(うち薬品費)	179,975	9.7	12.6	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	111,739	6.0	11.0	7.4
減価償却費	235,056	12.7	9.0	9.6
経費	562,760	30.4	23.3	30.8
(うち委託料)	198,422	10.7	10.8	12.1
研究研修費	3,246			
資産減耗費	4,509			
(2) 医業外費用	126,283			
(うち支払利息)	44,851	2.4	1.9	2.0
(3) 特別損失	12,135			
経常損益	-98,822			
純損益	-110,957			
累積欠損金	422,542			
経常収支比率	95.6		98.7	98.1
医業収支比率	87.6		89.5	84.8
他会計繰入金対経常収益比率	4.8		12.0	15.1
他会計繰入金対医業収益比率	5.6		14.0	18.6
他会計繰入金対総収益比率	4.8		12.3	15.7
実質収益対経常費用比率	91.0		86.8	83.3

備考：
 「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,002,129
1 固定資産	2,452,305
(1) 有形固定資産	2,233,743
(2) 無形固定資産	400
(3) 投資その他の資産	218,162
2 流動資産	549,824
(1) 現金及び預金	255,535
(2) 未収金及び未収収益	261,410
(3) 貸倒引当金()	604
(4) 貯蔵品	31,518
3 繰延資産	-
負債合計	3,389,446
1 固定負債	2,715,565
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,398,016
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	297,368
(7) リース債務	20,181
2 流動負債	425,533
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	218,799
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	66,014
(6) リース債務	20,180
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	111,925
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	248,348
(1) 長期前受金	1,172,861
(2) 長期前受金収益化累計額()	924,513
資本合計	-387,317
1 資本金	14,932
2 剰余金	-402,249
(1) 資本金剰余金	20,293
(2) 利益剰余金	-422,542
負債・資本合計	3,002,129
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	387,317
資本不足額(繰延収益控除後)()	138,969
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	86.4
修正医業収支金額(千円)	1,823,916

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	185,151	102,729
資本勘定繰入	144,197	242,271
計	329,348	345,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	22.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27年度)	都道府県名	長野県
	市町村・組合名	伊那中央行政組合(事業会計分)
	病院名	伊那中央病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	34,467 m ²	指定病院の状況	救臨が感災地輪
診療科数	27	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	390	80.9	83.2	82.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	394	80.1	82.4	81.8
平均在院日数(一般病床のみ)		12.1	12.3	12.7

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	96.5
修正医業収支金額(千円)	10,572,165

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	11,524,069			
1 経常収益	11,524,069			
(1) 医業収益	10,940,756			
入院収益	7,423,630			
外来収益	2,696,479			
診療収入計	10,120,109			
その他医業収益	820,647			
(うち他会計負担金)	368,591			
(2) 医業外収益	583,313			
(うち国・都道府県補助金)	33,920			
(うち他会計補助・負担金)	406,163			
(うち長期前受金戻入)	74,525			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	11,422,466			
2 経常費用	11,422,436			
(1) 医業費用	10,950,085			
職員給与費	6,284,696	57.4	54.5	55.3
材料費	2,410,697	22.0	24.1	24.2
(うち薬品費)	1,160,126	10.6	12.6	12.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,171,562	10.7	11.0	11.5
減価償却費	847,963	7.8	9.0	8.8
経費	1,317,332	12.0	23.3	21.7
(うち委託料)	698,663	6.4	10.8	10.3
研究研修費	43,049			
資産減耗費	46,348			
(2) 医業外費用	472,351			
(うち支払利息)	67,367	0.6	1.9	2.1
(3) 特別損失	30			
損益				
経常損益	101,633			
純損益	101,603			
累積欠損金	402,139			
経常収支比率	100.9		98.7	97.6
医業収支比率	99.9		89.5	90.4
他会計繰入金対経常収益比率	6.7		12.0	11.0
他会計繰入金対医業収益比率	7.1		14.0	12.6
他会計繰入金対総収益比率	6.7		12.3	11.4
実質収益対経常費用比率	94.1		86.8	86.9

備考:
 「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	23,013,208
1 固定資産	19,093,717
(1) 有形固定資産	14,997,991
(2) 無形固定資産	2,538
(3) 投資その他の資産	4,093,188
2 流動資産	3,912,759
(1) 現金及び預金	2,123,983
(2) 未収金及び未収収益	1,744,186
(3) 貸倒引当金()	1,555
(4) 貯蔵品	45,277
3 繰延資産	6,732
負債合計	14,534,773
1 固定負債	11,388,977
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	9,885,786
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,503,191
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,424,900
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,326,314
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	322,244
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	672,016
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	720,896
(1) 長期前受金	1,049,550
(2) 長期前受金収益化累計額()	328,654
資本合計	8,478,435
1 資本金	8,880,574
2 剰余金	-402,139
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-402,139
負債・資本合計	23,013,208
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	729,124	774,754
資本勘定繰入	807,276	807,276
計	1,536,400	1,582,030

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	3.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27 年度)				都道府県名	長野県
				市町村・組合名	伊南行政組合
				病院名	昭和伊南総合病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	21,682 m ²	指定病院の状況	救臨	輪	
診療科数	18	看護配置	7 : 1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象				

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	300	61.4	58.3	61.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	300	61.4	58.3	61.1
平均在院日数（一般病床のみ）		15.5	15.1	16.7

設立団体の状況		
人口（人）	-	
決算規模（千円）	369,351	
標準財政規模（千円）	-	
財政力指数	-	
経常収支比率（%）	112.3	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	-
	将来負担比率（%）	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	91.8
修正医業収支金額（千円）	5,321,828

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,304,508			
1 経常収益	6,255,448			
(1) 医業収益	5,494,327			
入院収益	3,335,427			
外来収益	1,582,158			
診療収入計	4,917,585			
その他医業収益	576,742			
(うち他会計負担金)	172,499			
(2) 医業外収益	761,121			
(うち国・都道府県補助金)	1,540			
(うち他会計補助・負担金)	507,305			
(うち長期前受金戻入)	232,107			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	49,060			
(うち他会計繰入金)	47,793			
総費用	6,118,609			
2 経常費用	5,839,609			
(1) 医業費用	5,794,347			
職員給与費	3,306,927	60.2	54.5	55.3
材料費	1,181,729	21.5	24.1	24.2
(うち薬品費)	666,164	12.1	12.6	12.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	471,551	8.6	11.0	11.5
減価償却費	369,155	6.7	9.0	8.8
経費	911,137	16.6	23.3	21.7
(うち委託料)	455,327	8.3	10.8	10.3
研究研修費	14,189			
資産減耗費	11,210			
(2) 医業外費用	45,262			
(うち支払利息)	14,479	0.3	1.9	2.1
(3) 特別損失	279,000			
損益				
経常損益	415,839			
純損益	185,899			
累積欠損金	-			
経常収支比率	107.1		98.7	97.6
医業収支比率	94.8		89.5	90.4
他会計繰入金対経常収益比率	10.9		12.0	11.0
他会計繰入金対医業収益比率	12.4		14.0	12.6
他会計繰入金対総収益比率	11.5		12.3	11.4
実質収益対経常費用比率	95.5		86.8	86.9

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	6,104,607
1 固定資産	3,550,834
(1) 有形固定資産	3,504,767
(2) 無形固定資産	1,487
(3) 投資その他の資産	44,580
2 流動資産	2,553,773
(1) 現金及び預金	1,652,644
(2) 未収金及び未収収益	858,721
(3) 貸倒引当金（ ）	-
(4) 貯蔵品	42,408
3 繰延資産	-
負債合計	4,082,275
1 固定負債	2,272,421
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,450,000
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	822,421
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,144,714
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	308,219
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	176,377
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	630,999
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	665,140
(1) 長期前受金	3,518,903
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	2,853,763
資本合計	2,022,332
1 資本金	35,118
2 剰余金	1,987,214
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	1,987,214
負債・資本合計	6,104,607
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	627,597	727,597
資本勘定繰入	156,485	156,485
計	784,082	884,082

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	-
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27 年度)				都道府県名	長野県
				市町村・組合名	諏訪中央病院組合
				病院名	組合立諏訪中央病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透Ⅰ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	23,106 m ²	指定病院の状況	救臨	輪	
診療科数	21	看護配置	7 : 1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象				

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	315	85.4	88.0	86.0
療養	45	85.8	84.4	82.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	360	85.5	87.6	85.5
平均在院日数（一般病床のみ）		13.7	14.1	14.7

設立団体の状況		
人口（人）	-	
決算規模（千円）	-	
標準財政規模（千円）	-	
財政力指数	-	
経常収支比率（%）	-	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	-
	将来負担比率（%）	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	97.0
修正医業収支金額（千円）	8,186,241

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,682,319			
1 経常収益	8,682,319			
(1) 医業収益	8,194,698			
入院収益	5,225,591			
外来収益	2,567,483			
診療収入計	7,793,074			
その他医業収益	401,624			
(うち他会計負担金)	8,457			
(2) 医業外収益	487,621			
(うち国・都道府県補助金)	19,918			
(うち他会計補助・負担金)	41,595			
(うち長期前受金戻入)	24,649			
(うち資本費繰入収益)	202,491			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,993,427			
2 経常費用	8,904,082			
(1) 医業費用	8,439,748			
職員給与費	4,871,485	59.4	54.5	55.3
材料費	1,750,666	21.4	24.1	24.2
(うち薬品費)	783,155	9.6	12.6	12.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	884,503	10.8	11.0	11.5
減価償却費	396,465	4.8	9.0	8.8
経費	1,365,631	16.7	23.3	21.7
(うち委託料)	482,837	5.9	10.8	10.3
研究研修費	38,475			
資産減耗費	17,026			
(2) 医業外費用	464,334			
(うち支払利息)	67,272	0.8	1.9	2.1
(3) 特別損失	89,345			
損益				
経常損益	-221,763			
純損益	-311,108			
累積欠損金	311,108			
経常収支比率	97.5		98.7	97.6
医業収支比率	97.1		89.5	90.4
他会計繰入金対経常収益比率	0.6		12.0	11.0
他会計繰入金対医業収益比率	0.6		14.0	12.6
他会計繰入金対総収益比率	0.6		12.3	11.4
実質収益対経常費用比率	96.9		86.8	86.9

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	14,643,375
1 固定資産	11,799,789
(1) 有形固定資産	11,609,107
(2) 無形固定資産	1,899
(3) 投資その他の資産	188,783
2 流動資産	2,843,586
(1) 現金及び預金	1,402,637
(2) 未収金及び未収収益	1,420,562
(3) 貸倒引当金（ ）	3,571
(4) 貯蔵品	23,958
3 繰延資産	-
負債合計	11,616,390
1 固定負債	9,407,823
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,462,958
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,884,861
(7) リース債務	60,004
2 流動負債	1,907,900
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	225,617
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	242,475
(6) リース債務	26,559
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,368,830
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	300,667
(1) 長期前受金	480,114
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	179,447
資本合計	3,026,985
1 資本金	3,262,684
2 剰余金	-235,699
(1) 資本金剰余金	75,409
(2) 利益剰余金	-311,108
負債・資本合計	14,643,375
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	141,297	50,052
資本勘定繰入	315,392	302,491
計	456,689	352,543

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	3.8
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27年度)	都道府県名	長野県
	市町村・組合名	依田窪医療福祉事務組合
	病院名	国保依田窪病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	13,027 m ²	指定病院の状況	救 輪
診療科数	15	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	140	68.6	73.7	72.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	140	68.6	73.7	72.4
平均在院日数(一般病床のみ)		17.9	19.4	19.6

設立団体の状況		
人口(人)	-	
決算規模(千円)	36,272	
標準財政規模(千円)	-	
財政力指数	-	
経常収支比率(%)	-	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	86.6
修正医業収支金額(千円)	2,482,460

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,803,538			
1 経常収益	2,803,538			
(1) 医業収益	2,522,148			
入院収益	1,649,880			
外来収益	685,405			
診療収入計	2,335,285			
その他医業収益	186,863			
(うち他会計負担金)	39,688			
(2) 医業外収益	281,390			
(うち国・都道府県補助金)	3,926			
(うち他会計補助・負担金)	213,661			
(うち長期前受金戻入)	27,995			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,011,988			
2 経常費用	3,001,812			
(1) 医業費用	2,866,025			
職員給与費	1,368,678	54.3	54.5	58.9
材料費	438,908	17.4	24.1	18.0
(うち薬品費)	164,849	6.5	12.6	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	250,134	9.9	11.0	7.4
減価償却費	251,719	10.0	9.0	9.6
経費	800,279	31.7	23.3	30.8
(うち委託料)	162,773	6.5	10.8	12.1
研究研修費	6,441			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	135,787			
(うち支払利息)	45,425	1.8	1.9	2.0
(3) 特別損失	10,176			
損益				
経常損益	-198,274			
純損益	-208,450			
累積欠損金	1,726,831			
経常収支比率	93.4		98.7	98.1
医業収支比率	88.0		89.5	84.8
他会計繰入金対経常収益比率	9.0		12.0	15.1
他会計繰入金対医業収益比率	10.0		14.0	18.6
他会計繰入金対総収益比率	9.0		12.3	15.7
実質収益対経常費用比率	85.0		86.8	83.3

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,095,370
1 固定資産	3,496,608
(1) 有形固定資産	3,399,610
(2) 無形固定資産	595
(3) 投資その他の資産	96,403
2 流動資産	598,762
(1) 現金及び預金	87,395
(2) 未収金及び未収収益	471,403
(3) 貸倒引当金()	1,258
(4) 貯蔵品	33,871
3 繰延資産	-
負債合計	3,084,770
1 固定負債	2,812,366
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,587,367
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	49,358
(7) リース債務	6,822
2 流動負債	272,404
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	85,108
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	183,057
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	1,010,600
1 資本金	88,558
2 剰余金	922,042
(1) 資本金剰余金	2,648,873
(2) 利益剰余金	-1,726,831
負債・資本合計	4,095,370
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	123,585	253,349
資本勘定繰入	180,263	182,297
計	303,848	435,646

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	68.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。